TRISULANA

TRISULANA cine 取扱説明書

対応する版：TRISULANA cine 1.1 以降

発行：2026年10月30日

ナカシマメディカルシステムズ株式会社

最新の情報

この説明書は、お使いの版と一緒に作られています。**あとから分かったこと、直した不具合、よくある質問、ライセンスコードの再送は、次のページにまとめています。**

https://trisulana.com/cine/manual/



https://trisulana.com/cine/manual/

病院のパソコンがインターネットにつながっていなくても、お手元のスマートフォンで読み取れます。

アプリの中からは、［アプリの設定］→「困ったとき」→［**最新の情報を見る**］で、同じページがブラウザで開きます。

お問い合わせ	`cine@trisulana.com`

目次

0. はじめに

1. 動作環境

2. インストールと起動

3. ライセンス

4. 基本の流れ

5. 画面ごとの説明

6. 患者情報の扱い

7. 明るさ（階調）について

8. 保存されるデータと、その消し方

9. うまくいかないとき

10. 免責とお問い合わせ

付録 第三者ソフトウェアのライセンス

0. はじめに

0.1 TRISULANA cine でできること

TRISULANA cine は、**DICOM形式の医用画像や、録画装置などの動画・画像ファイルを、パソコンやスマートフォンでそのまま見られる動画（MP4 / GIF）や静止画（PNG / JPEG）に変換する** Windows 用のソフトウェアです。

- 血管撮影や心エコーなどの**マルチフレーム画像**を、1本の動画にします
- CT・MR の**連番画像**を、スクロール動画にします
- **録画装置の動画（MP4・AVI）や、画像のファイル（JPEG・PNG・BMP）**も取り込めます（→ 4章①）
- 画像に焼き込まれた氏名や日付を、**四角で塗りつぶして消せます**。四角の中に、撮影条件などの注記を書くこともできます
- 画像の要る部分だけを**切り出せます**（→ 4章④）
- 症例提示、学会発表、教育資料、患者さんへの画像提供、院内でのデータ受け渡しにお使いいただけます

0.2 この製品でしないこと

> **診断および読影には使用しないでください。**
>
> TRISULANA cine は、画像の**変換・保存・匿名化**を行うソフトウェアです。 **診断を目的とした表示・解析の機能は持っていません。** 画面に表示される画像は、変換した結果を確かめるためのものです。診断・読影は、必ず正規の医用画像表示装置（ビューア）で行ってください。

あわせて、次のことも行いません。

しないこと	補足
インターネットや院内ネットワークとの通信	**一切行いません**（→ 5.4）
院内の画像サーバーとのやり取り（C-STORE / Q-R / MWM）	行いません
動画・画像から DICOM への変換	本製品は動画・静止画への変換のみです
焼き込み文字の自動検出	消す場所は、利用者ご自身で指定していただきます（→ 6章）
静止画1枚の DICOM 化	DICOM を作る機能はありません

0.3 体験版と製品版

体験版は、期間も本数も制限がありません。 すべての機能をそのままお試しいただけます。

ただし、**変換した動画・静止画の中央に、45度の傾きで透かし「TRISULANA cine / 体験版」（2行）が入ります。** 画像の中央に大きく入るため、学会発表や患者さんへのお渡しには使えません。

体験版のあいだは、プレビューの右上に「**体験版のため、出力には透かしが入ります**」、変換の画面に「**体験版のため、変換した動画・静止画には透かしが入ります。**」と出ます（期限が切れたときは「ライセンスの期限が切れているため、…」、日付を確認できないときは「日付を確認できないため、…」と出ます・→ 3.3・3.5）。**画面のプレビューとマスク編集の画像には、透かしは出ません。変換してから初めて透かしに気づく、ということが起きないようにしてあります。**

ライセンスコードを入れると、透かしは入らなくなります（→ 3章）。

---

1. 動作環境

項目	必要なもの
OS	**Windows 10（64ビット版・version 1607 以降）／Windows 11**
CPU	**64ビット（x64）のみ。** 32ビット版の Windows ではお使いいただけません
メモリ	**8GB 以上を推奨**
ストレージ	**SSD を推奨。** インストールに約 200MB。CD / DVD から取り込むときは、**そのディスクの中身とほぼ同じ空き**が別に要ります
画面	1280 × 800 以上
ネットワーク	**不要。** すべての機能がインターネットにつながっていない環境で動作します
管理者権限	**ふつうは不要**（→ 2.1）

.NET などのランタイムを別途入れていただく必要はありません。すべてソフトウェアに同梱されています。

1.1 Windows 10 をお使いの方へ

> **Windows 10 での動作は確認していますが、OS 自体に起因する問題への対応は保証いたしません。**
>
> Windows 10 の一般サポートは、Microsoft により **2025年10月14日に終了**しています。 個人向けの延長セキュリティ更新（ESU）は **2027年10月12日まで**提供されていますが（2026年10月時点）、これは Microsoft の判断で変わることがあります。 TRISULANA cine そのものの不具合は、Windows 10 でも通常どおりサポートいたします。

1.2 ストレージについて

ストレージの速さが効くのは、**変換ではなく取り込み**です。数千個のファイルを次々に開くため、SSD のほうが快適です。**HDD でも動作しますが、取り込みにどれだけ時間がかかるかは測っていません。**

CD / DVD からの取り込みは、光学ドライブ自体の速さで決まります。SSD か HDD かは関係ありません。

1.3 病院のポリシーについて

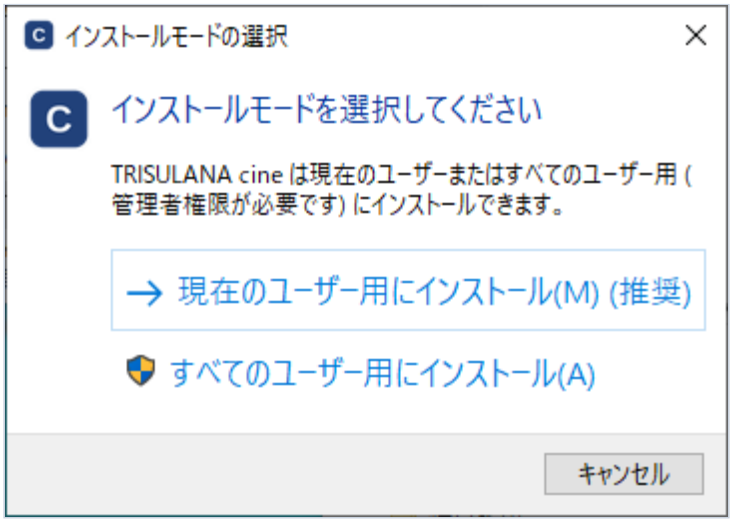
一部の病院では、セキュリティのポリシー（AppLocker 等）によって、**利用者フォルダからのプログラム実行が禁止されている**ことがあります。この場合は、インストールのときに「**すべてのユーザー用にインストール**」を選んでください（→ 2.1）。ただし、こちらは**管理者権限が必要**です。

---

2. インストールと起動

2.1 インストール

1. インストーラー（`TRISULANA-cine-setup-1.0.5.exe` のように、版の番号が付いたファイル）をダブルクリックします
2. **初めてインストールするときは、「インストールモードの選択」**の画面が出ます



インストールモードの選択

選択肢	管理者権限	こんなときに
現在のユーザー用にインストール（推奨）	**不要**	ふつうはこちら。ご自身のアカウントにだけ入ります
すべてのユーザー用にインストール	**必要**	病院のポリシーで利用者フォルダからの実行が禁止されているとき

3. 「セットアップウィザードの開始」で［次へ］を押します
4. **初めてインストールするときは、「インストール先の指定」**の画面が出ます。**ふつうはそのまま［次へ］**を押してください
5. 「追加タスクの選択」で、「デスクトップ上にアイコンを作成する」を選べます（**初めてのときはチェックが入っていません。** 新しい版に更新するときは、前回の選び方が引き継がれます）
6. 「インストール準備完了」で［インストール］を押します
7. 最後の画面で「TRISULANA cine を実行する」に印が付いていると、［完了］でそのまま起動します

新しい版に更新するとき（上書きでインストールするとき）は、2 と 4 の画面は出ません。 前回と同じ種類・同じ場所に入り、取り込んだ一覧やライセンスもそのまま使えます。

同じパソコンの別のアカウントでお使いになる場合は、そのアカウントでもう一度インストールしてください。 ライセンスもアカウントごとに別の扱いになります。

Windows の確認画面が出たとき

インストーラーを開いたときに、Windows の確認画面が出ることがあります。**画面の見え方と進め方は、「最新の情報」のページ（表紙裏）に載せています。**

TRISULANA cine を開いたままインストールしたとき

「セットアップは実行中の TRISULANA cine を検出しました。」と出ます。TRISULANA cine を閉じてから［OK］を押してください。

2.2 起動

スタートメニュー（またはデスクトップ）の **TRISULANA cine** から起動します。

2.3 すでに起動しているとき

TRISULANA cine は、1台のパソコンで同時に1つだけ動きます。

起動中にもう一度起動すると、**2つ目は開かず、開いている画面が手前に出ます。** 手前に出せなかったときは、次の知らせが出ます。

> TRISULANA cine はすでに起動しています。 タスクバーの TRISULANA cine をクリックして、開いている画面をお使いください。

2.4 版の確かめ方

［アプリの設定］の「バージョン」の欄に「TRISULANA cine 1.0.5」のように、お使いの版の番号が出ています。

---

3. ライセンス

ライセンスの条件は、利用規約（`https://trisulana.com/cine/terms/`）に定めています。ご購入の前にお読みください。

3.1 購入する

1. メイン画面の右上の「**体験版｜コードを入力**」を押すと、**ライセンス画面**が開きます（［アプリの設定］→「ライセンス」→［ライセンス画面を開く］からも開けます）
2. ［**購入ページを開く**］を押すと、お使いのブラウザで購入のページが開きます

購入が済むと、**ライセンスコードがメールで届きます。**

> ブラウザが開けないときは、画面に購入ページのアドレスが出ます。手で入力してください。 TRISULANA cine 自身は通信しません。ブラウザでページを開くだけです。

3.2 コードを入れる

1. メイン画面の右上の「**体験版｜コードを入力**」を押して、ライセンス画面を開きます
2. `XXXX-XXXX-XXXX-XXXX` の形式でコードを入力します
3. ［**有効にする**］を押します



ライセンス画面

複数のコードをまとめて貼り付けることもできます。 学会前にまとめて購入された場合などにお使いください。

変換の画面からも入れられます。 体験版か期限切れのときは、変換の画面に透かしの注意が出て、その右に［**ライセンスコードを入力**］があります。ここでコードを入れると、**その変換から透かしが入らなくなります。**

コードを入れたあと、右上は「**残り ○ 日｜ライセンス**」になります。期限が切れると「**期限切れ（透かしが入ります）｜コードを入力**」になります。

3.3 期限について

- **期間は、購入した時点ではなく、アプリにコードを入力した時点から始まります。** まとめて買っておいて、必要になってから入れる、という使い方ができます
- **有効なうちに次のコードを入れると、いまの期限が切れたときから、続けて始まります。** 期限が重なって無駄になることはありません
- 残りの日数は、メイン画面の右上とライセンス画面に出ます。**残りが少なくなると、右上の表示の色が変わります**
- **期限が切れても、機能は止まりません。** 書き出す動画に透かしが入るようになります（体験版と同じ）

3.4 このPCの識別コード

ライセンスは、**入力したパソコンに結び付きます。 1本のコードは、1台のパソコンでお使いください。** パソコンを買い替えたときは、8.3 をご覧ください。

ライセンス画面に「このPCの識別コード」が出ています。**お問い合わせのときは、このコードをお知らせください。**［コピー］でクリップボードに写せます。同じコードは、［アプリの設定］の「お問い合わせ」の欄にも出ています（→ 5.4）。

> この説明書の画面の絵では、識別コードを見本の値（ `NMS-0000-0000-0000` ）にしています。お使いのパソコンでは別の値が出ます。

3.5 「日付を確認してください」と出たとき

パソコンの日付が、前に起動したときより前に戻っている場合に出ます。**パソコンの日付と時刻の設定をお確かめください。**

このあいだは、書き出す動画に透かしが入ります。プレビューの右上と変換の画面に「**日付を確認できないため、…透かしが入ります**」と出ます。

3.6 コードのメールを失くしたとき

「最新の情報」のページ（表紙裏）から、購入のときのメールアドレスあてにコードを送り直せます。 ご自身で手続きできます。

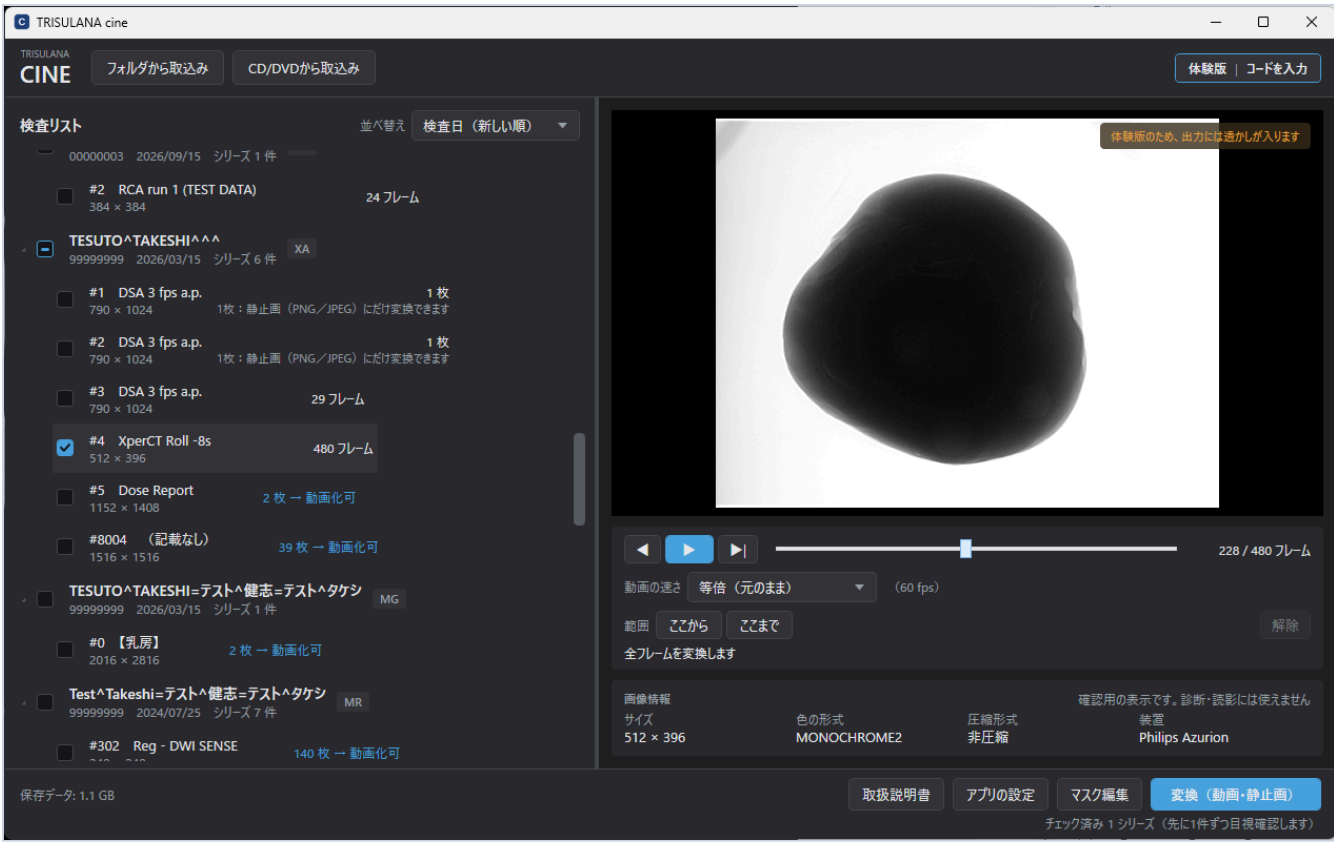
送り直しでも解決しないときは、`cine@trisulana.com` までご連絡ください。**このPCの識別コードを一緒にお知らせいただくと、手続きが早く済みます。**

---

4. 基本の流れ

5つの手順で動画・静止画になります。

① 取り込む → ② チェックを入れる → ③ プレビューで確かめる
→ ④ マスク編集で隠す＋変換するフレームの確認 → ⑤ 変換（動画・静止画）



メイン画面（取り込み後・シリーズを1件選んだ状態）

① 取り込む

画面左上のボタンから取り込みます。**画面の上へドラッグして離しても取り込めます**（下）。

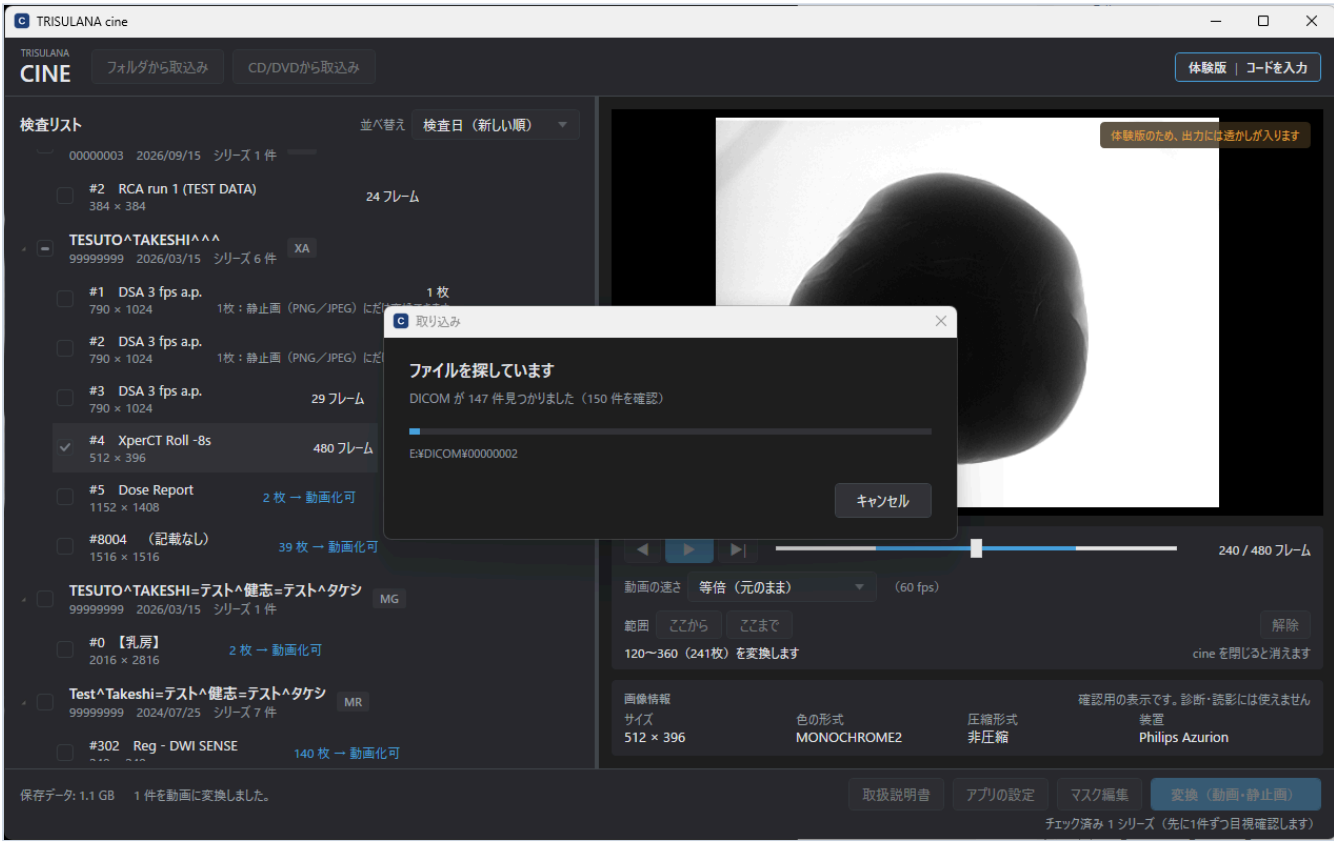
ボタン	取り込み元	画像の置き場所
フォルダから取込み	パソコンの中のフォルダ、USB メモリなど	**元の場所のまま読みます**（写しません）
CD/DVDから取込み	PDI メディアなどの光学ディスク	**パソコンの中（作業領域）に写します。** ディスクを抜いても開けます

［フォルダから取込み］を押すと、フォルダを選ぶ画面が出ます。**この画面にはフォルダの中のファイルが表示されません**（「検索する条件に一致する項目はありません」と出ることがあります）。フォルダの中には入らず、**取り込むフォルダを選んだまま［フォルダーの選択］を押してください。** サブフォルダの中も含めて取り込みます。

フォルダや、CD / DVD のドライブを、TRISULANA cine の画面の上へドラッグして離しても取り込めます。 フォルダは［フォルダから取込み］と同じく元の場所のまま読み、**CD / DVD は［CD/DVDから取込み］と同じく、パソコンの中に写します**（ディスクを抜いても開けます）。

> **フォルダから取り込んだものは、元の場所から動かさないでください**
>
> フォルダから取り込んだ画像は、**取り込んだときの場所から読んでいます。** 取り込んだあとで、そのフォルダを移動・削除したり、USB メモリを外したりすると、**一覧には残りますが、中の画像を読めなくなります**（→ 9.2）。 元の場所に戻すか、もう一度取り込んでください。

取り込みの途中は、「ファイルを探しています」「作業領域へコピーしています」（CD / DVD のとき）「一覧に登録しています」と進み具合が出ます。途中で［キャンセル］を押して止められます。



取り込み中の画面（CD / DVD から取り込んでいるところ）

> **DICOMDIR は使いません。** ファイルを1つずつ開いて中身を確かめています。DICOMDIR の記載と実際のファイルが食い違っているメディアでも、正しく取り込めます。

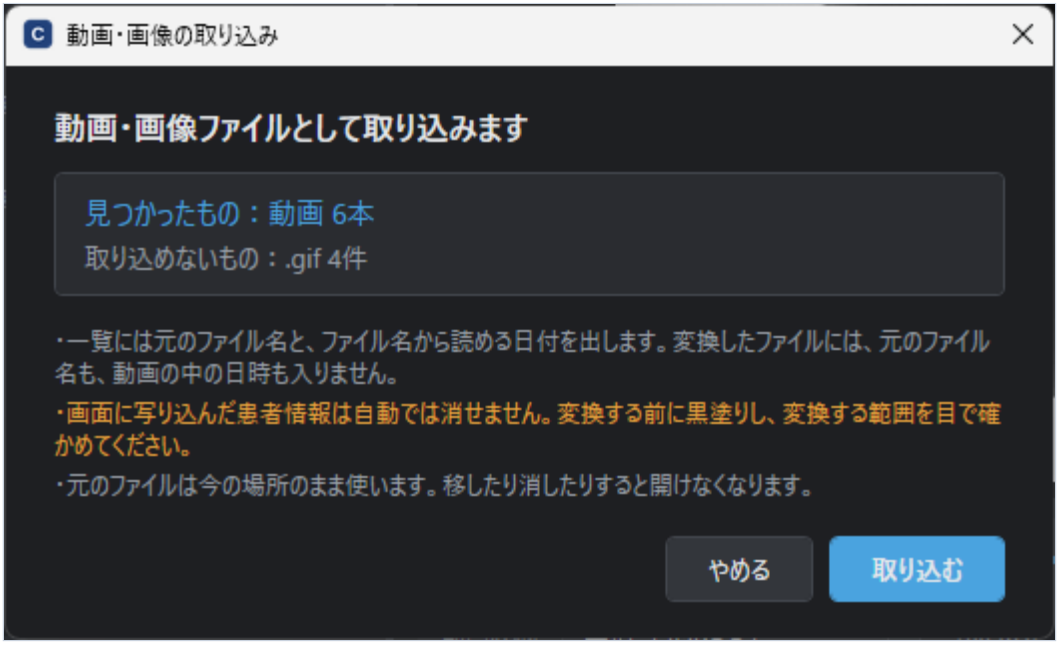
DICOM 以外の動画・画像を取り込む

録画装置の動画や、画像のファイルも取り込めます。一覧では「**汎用ファイル**」としてまとまります。

	取り込める形式
動画	MP4・AVI

	取り込める形式
画像	JPEG・PNG・BMP

1. ファイルを TRISULANA cine の画面へドラッグするか、**DICOM の無いフォルダ**を［フォルダから取込み］で選びます
2. 「**動画・画像の取り込み**」の窓に、見つかったもの（「動画 ○本」「画像 ○組（○枚）」）が出ます。［**取り込む**］で取り込みます。［やめる］なら取り込みません



動画・画像の取り込み

- **画像は、1つのフォルダの中の画像を1組**として、1つのシリーズにします
- **DICOM と一緒に（同じフォルダの中に）動画があるときは、DICOM だけを取り込みます。**「動画 ○本は取り込んでいません」と出ます。動画は、ファイルを画面へ直接ドラッグしてください
- 置き場所は DICOM と同じです。**フォルダや USB メモリのものは元の場所のまま読み、CD / DVD のものは写します**
- 一覧の日付は、**ファイル名（画像はフォルダ名）から読める日付**（`20260315`・`2026-03-15`・`2026年3月15日` などの形）だけを出します。動画の中に記録された日時は使いません
- **同じファイルをもう一度取り込むと、取り込み済みとして飛ばします**
- 一覧では、**元のファイル名**で出ます。検査の行（太字）は1件目の名前（何件かあるときは「○○ ほか ○件」）、その下の行の頭に「汎用ファイル」と出ます。シリーズの行は「#1　元のファイル名」（画像はフォルダの名前）で、種類と日付はその下の行に出ます。マウスを乗せても元のファイル名が出ます
- 元のファイル名が出るのは **TRISULANA cine の画面の中だけ**です。変換したファイルの名前・記録・問題の報告には入りません（→ 6.6）
- 形式が違うものや中身が読めないものは、窓に「取り込めないもの」として出ます。**H.265（HEVC）の動画は、取り込めても開けません**（開くと「このシリーズは開けませんでした」と出ます・→ 9.1）

> **画面に写り込んだ患者情報（録画した画面の氏名など）は、自動では消せません。** DICOM の焼き込み文字

> と同じく、マスク編集で塗りつぶしてください（→ 6章）。

取り込みの結果

取り込みが終わると、**画面の最下段に短い結果**（例：「検査 1・シリーズ 3・画像 120 件を追加」）が出ます。**マウスを乗せると、全文が出ます。**

出る文	意味
「未対応の形式が ○ 件ありました」	**一覧には出ますが、変換できません。** 対応している形式は 9.1 をご覧ください
「すべて取り込み済みでした」	**同じ CD / DVD をもう一度取り込んだとき**に出ます。追加もコピーもしていません
「取り込み済み ○ 件はコピーせず」	一部が取り込み済みでした。新しいものだけを写しています
「動画 ○本は取り込んでいません」	DICOM と一緒にあった動画です。DICOM だけを取り込みました（上）
「取り込み済み ○件は飛ばしました」	同じ動画・画像のファイルを、前に取り込んでいました
「DICOM も、動画・画像のファイルも見つかりませんでした」	選んだフォルダ（ドラッグしたもの）に、取り込めるものがありませんでした

② チェックを入れる

左の検査リストから、動画にしたいシリーズの**チェックボックスに印を付けます。**

> **大事なところ**
>
> **行をクリックして青くしても、動画の対象にはなりません。** 青い行は「**いま右側で再生しているもの**」という意味です。 **［マスク編集］と［変換（動画・静止画）］は、どちらもチェックを入れたシリーズを対象にします。**

検査の行のチェックを押すと、その下のシリーズがまとめて選ばれます。チェックを入れた数は、画面の最下段に「チェック済み ○ シリーズ」と出ます。

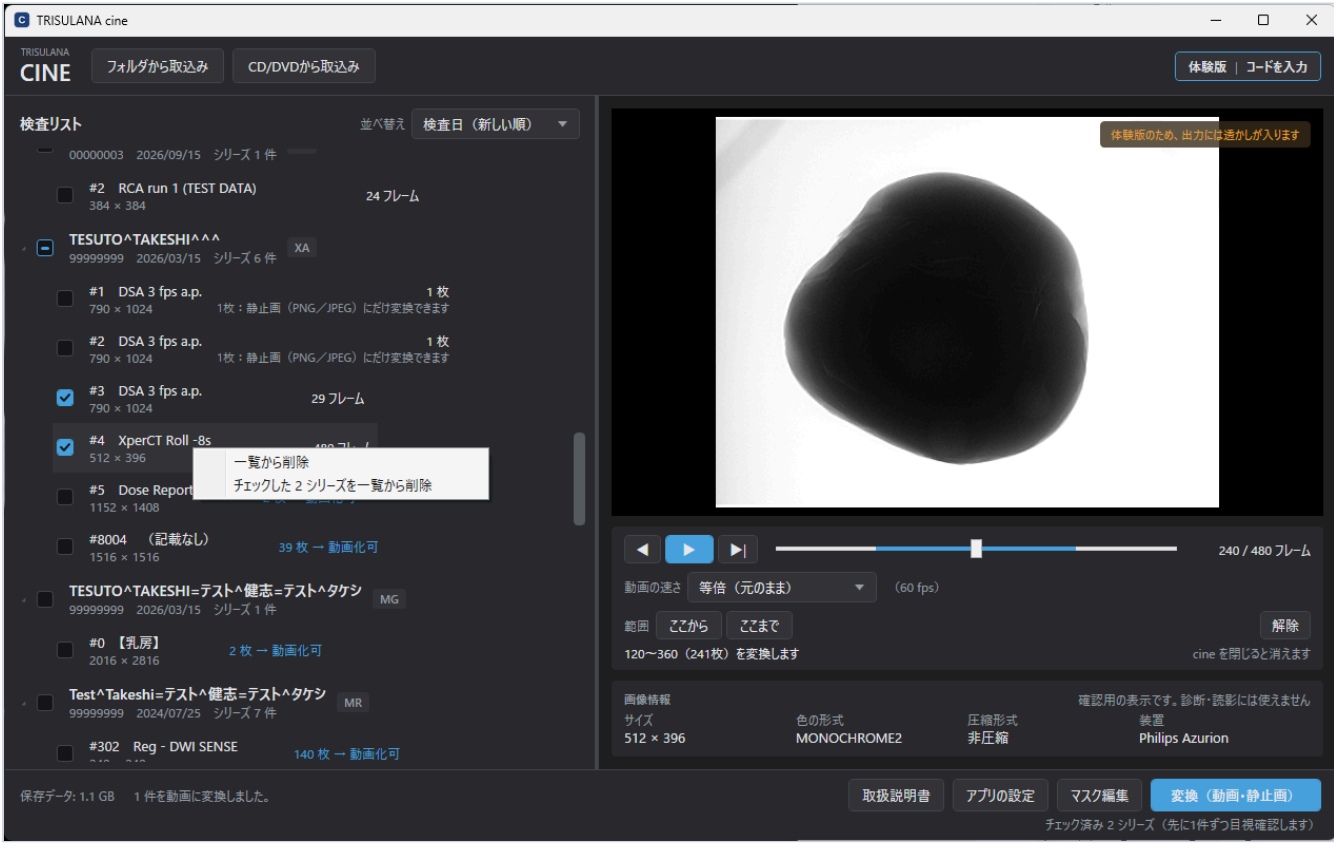
並べ替えは、検査日（新しい順・古い順）・患者・モダリティ・撮影部位・取り込んだ順から選べます。

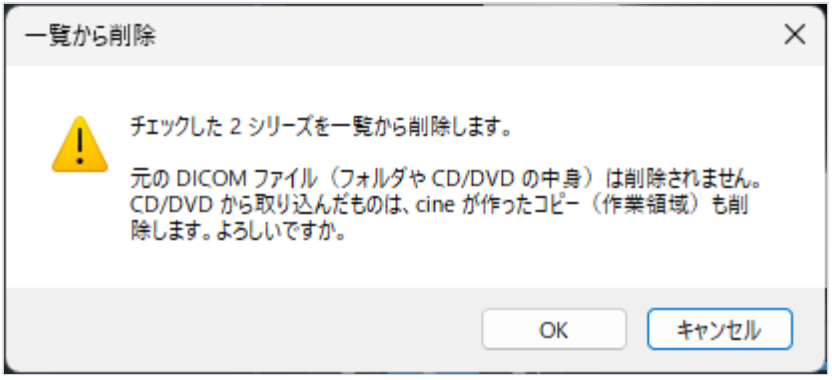
一覧から削除する

要らなくなった検査やシリーズは、一覧から消せます。

1. 検査リストで、消したい検査の行かシリーズの行を**右クリック**して［**一覧から削除**］を押します（行を選んで **Delete キー**を押しても同じです）
2. 確認の窓が出ます。**初めは［キャンセル］が選ばれています。** 消すときは［OK］を押します

いくつかをまとめて消すときは、消したいシリーズにチェックを入れてから右クリックし、［チェックした ○ シリーズを一覧から削除］を押します。 確認の窓に件数が出ます（シリーズが無くなる検査があれば、その件数も出ます）。**Delete キーで消えるのは、選んでいる1行だけです。**





右クリックのメニューと確認の窓

- **検査の行**を選ぶと、その検査のシリーズがまとめて消えます
- **シリーズの行**を選ぶと、そのシリーズだけが消えます。検査のシリーズがそれ1本だけのときは、検査も一覧から消えます

消えるもの	消えないもの
一覧の行、CD / DVD から写した画像（作業領域）のうちその分、目視確認の済み、範囲（→③）	**元の DICOM ファイル**（フォルダや CD / DVD の中身）、装置テンプレート

写した画像の一部を消せなかったときは、件数が出ます。TRISULANA cine を起動し直してから、［アプリの設定］の［**すべて削除**］で消せます（ほかの検査も一覧から消えます・→ 8.2）。

もう一度取り込めば、一覧に戻ります。そのときは目視確認をやり直してください。

③ プレビューで確かめる

一覧の**シリーズの行**をクリックすると、右側で再生できます。**検査の行（患者名の行）を押すと、プレビューは閉じます。**

再生 / 一時停止	連続再生します
前のフレーム / 次のフレーム	1枚ずつ送ります
スライダー	好きな位置へ飛びます
動画の速さ	0.25倍（かなりゆっくり）・0.5倍（ゆっくり）・等倍（元のまま）・2倍（早送り）・fpsを直接指定
範囲	［ここから］［ここまで］で、変換するフレームの範囲を決めます（下）

動画の速さの横に、**いまの速さが「(30 fps)」の形で出ます。**

> **ここで選んだ速さが、そのまま変換した動画の速さになります。** 変換の画面の「動画の速さ」と同じ値で、どちらで変えても両方が変わります。

汎用ファイルの動画（→ ①）では、位置が「0:05 / 0:23（156 / 709）」のように、**録画を始めてからの経過時間**とフレーム番号で出ます。窓が狭いときはフレーム番号を省きます（マウスを乗せると出ます）。スライダーをつかんで動かしているあいだは、おおよその絵が出ます。離したところで、そのフレームの正しい絵になります。

1枚しかないシリーズは再生できません。「1枚しかないため再生できません」と出ます。1枚のシリーズは、**静止画（PNG／JPEG）にだけ変換できます**（→ ⑤）。

> プレビューは**確認用の表示です。診断・読影には使えません**（→ 0.2）。

画像の情報（サイズ・色の形式・圧縮形式・装置）は、プレビューの下に出ます。

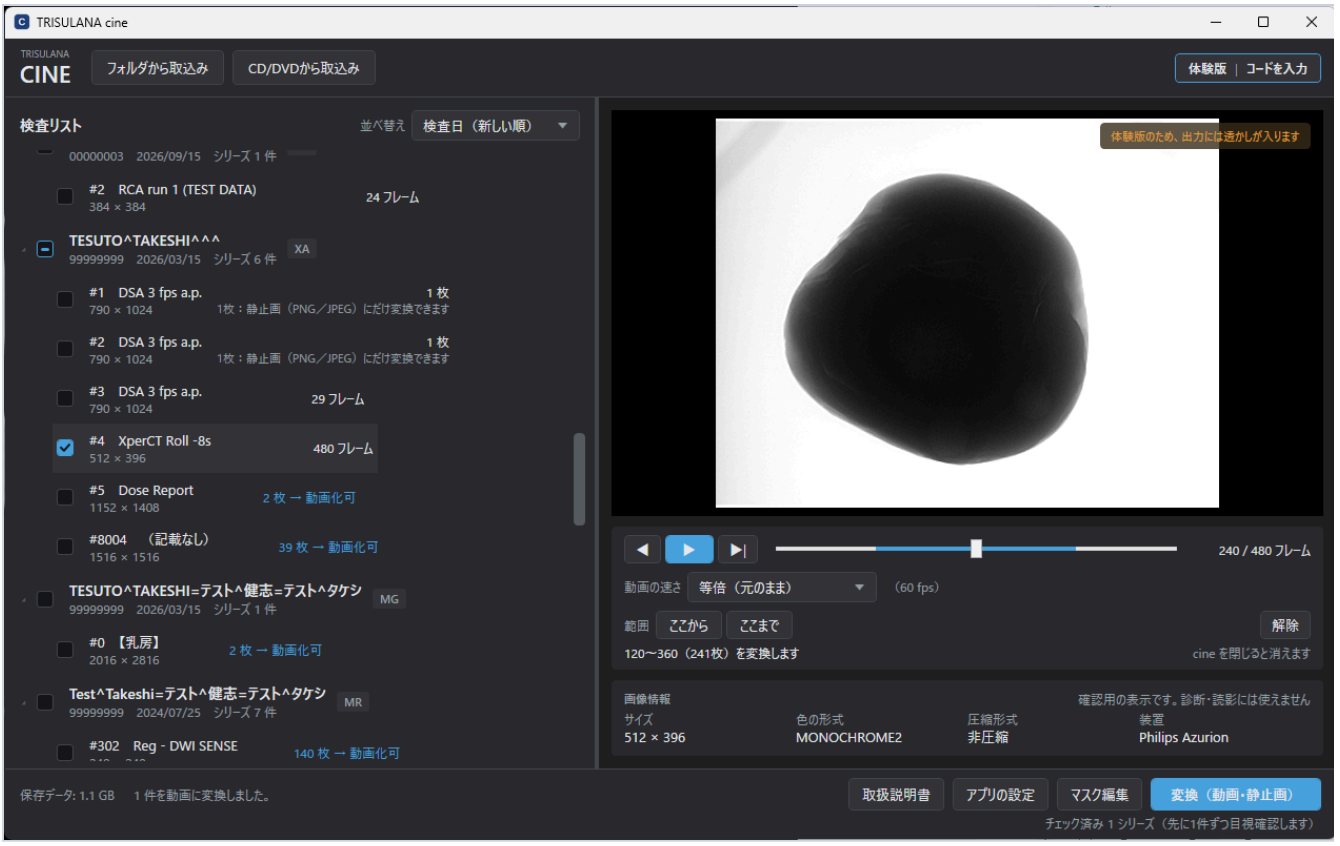
動画にする範囲を決める

再生バーの3段目「範囲」で、変換するフレームを絞れます。

1. スライダーやコマ送りで、始めたいフレームを出して［**ここから**］
2. 終わりにしたいフレームを出して［**ここまで**］

範囲は4段目に「12〜48（37枚）を変換します」のように出て、スライダーの範囲の中が明るい青になります。再生中でも押せます。［**解除**］で全フレームに戻ります。

範囲を付けると、目視確認（→ ④）も変換（→ ⑤）も、その範囲だけになります。範囲の外のフレームは変換されません。



範囲を決めた再生バー

- 開始を今の終了より後ろにすると、終了は最後のフレームに戻ります（終了を開始より前にしたときは、開始が最初のフレームに戻ります）
- 範囲は**シリーズごと**に覚えています。別のシリーズを見てから戻っても残っています
- **いくつかのシリーズをまとめて変換するときも、シリーズごとの範囲で変換します。** 範囲の無いシリーズは全フレームです
- **TRISULANA cine を閉じると消えます。** 一覧から削除したときも消えます

時刻で範囲を決める（汎用ファイルの動画）

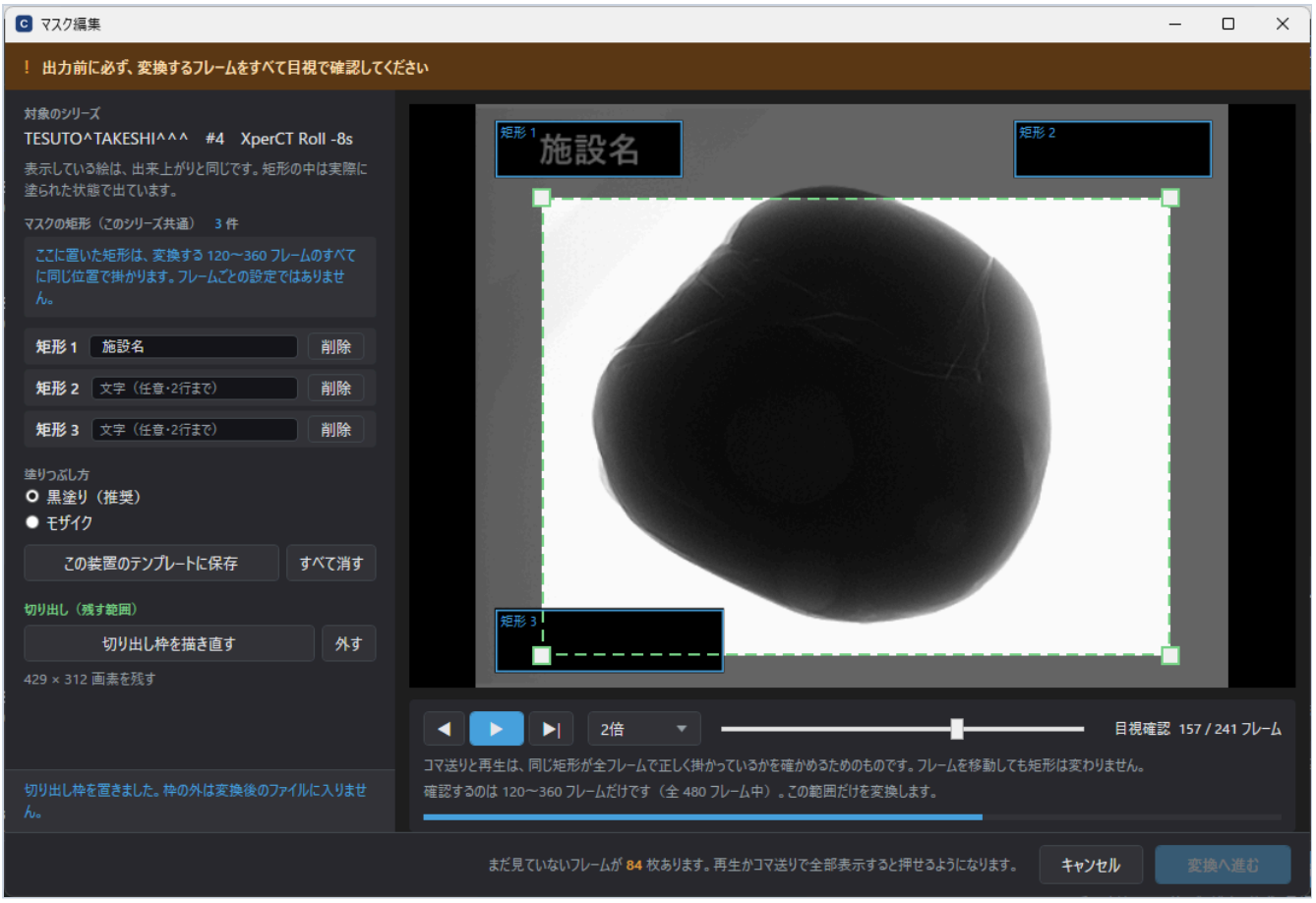
長い録画では、スライダーだけで狙った場面を出すのは大変です。**汎用ファイルの動画**では、3段目の［**時刻で指定…**］から、開始と終了を時刻で入れられます。

1. ［時刻で指定…］を押すと、「**時刻で範囲を指定**」の窓が開きます。動画の長さも出ます
2. 開始と終了を「**分:秒**」（例 `12:05`）か「**時:分:秒**」（例 `1:12:05`）で入れて、［**決定**］を押します

- 時刻は、**録画を始めてからの経過時間**です（装置の時計の時刻ではありません）
- **終了は、その秒に映っているフレームまで**入ります
- 動画の長さより後ろの時刻や、開始が終了より後ろの時刻は入れられません。窓に理由が出ます
- 範囲は4段目に「0:05〜0:15（11秒）を変換します」のように出ます
- **DICOM のシリーズでは、今までどおりフレーム番号で決めます**（［時刻で指定…］は出ません）

④ マスク編集で隠す

チェックを入れてから［マスク編集］を押します。 チェックを入れたシリーズが、1件ずつ順に開きます。



マスク編集画面（矩形を3つ置いて、目視確認の途中）

矩形を置く

右の画像をドラッグすると、四角（矩形）を追加できます。

塗りつぶし方	
黒塗り（推奨）	完全に消えます
モザイク	**文字の形が残ります。確実に消すなら黒塗りをお使いください**

> **ここに置いた矩形は、このシリーズの全フレームすべてに同じ位置で掛かります。** フレームごとの設定ではありません。範囲（→ ③）を決めているときは、画面には「変換する ○〜○ フレームのすべてに」と出ます。

表示している絵は、出来上がりと同じです。 矩形の中は、実際に塗られた状態で出ています。

矩形を消すときは、一覧の［削除］、まとめて消すときは［すべて消す］です（［すべて消す］で消えるのは矩形だけで、切り出し枠は残ります）。

画面が2つ並んだ録画（左右の2画面を1つに録ったものなど）は、氏名の欄が画面ごとにあります。**画面ごとに矩形を置いてください。** 片方の画面だけを使うときは、切り出し（下）が便利です。

矩形の中に文字を書く

矩形を選んで「**矩形の中に書く文字**」に入れると、塗りつぶした中に白い文字で書けます（2行まで・Enter で改行）。撮影条件などの注記にお使いください。

- **患者名・ID は書かないでください**
- 文字はテンプレートには保存されません
- 文字を変えると、目視確認はやり直しになります

切り出す（残す範囲を決める）

画像の要る部分だけを残して変換できます。DICOM にも汎用ファイルにも使えます。

1. 左の欄のいちばん下の［**切り出し枠を描く**］を押します
2. 画像の上をドラッグして、**変換後に残す範囲**を囲みます

- 切り出し枠は1つだけです。描き直すと置き換わります。［**外す**］で枠を外します
- **枠の外は、変換後のファイルに入りません。** この画面では暗く表示しています。暗い所を黒塗りする必要はありません
- 四隅の □ をつまむと、枠の大きさを変えられます
- 小さすぎる枠は置けません（32 × 32 画素以上）
- **黒塗りは、切り出しより先に掛かります**

装置のテンプレート

［**この装置のテンプレートに保存**］を押すと、**同じ装置で、画像の大きさも同じシリーズ**を次に開いたときに、同じ位置の矩形が自動で入ります。**切り出し枠を置いていれば、枠も保存して自動で当てます。** 焼き込みの位置は装置ごとに決まっているため、2回目以降がとても楽になります。

- **画像の大きさが違うシリーズには当たりません**（矩形の形が変わってしまうため）。大きさごとに保存し直してください
- 自動で入ったときは「この装置・（大きさ）のテンプレートを適用しました」と出ます。**要らない矩形は削除してください**
- **画像に装置の情報（メーカー名・型式）が入っていないときは、テンプレートとして保存できません**
- 保存したテンプレートを消すときは、［アプリの設定］→「保存データ」→［**装置テンプレートを削除**］です（→ 5.4）

名前つきのテンプレート（汎用ファイル）

汎用ファイルには装置の情報が無いため、**名前を付けて保存し、選んで当てます**（自動では当たりません）。

1. 矩形や切り出し枠を置いて［**テンプレートに保存…**］を押し、名前（例：SIEMENS 透視）を付けて［保存］
2. 次に**同じ大きさ**の動画・画像を開いたとき、欄の中からテンプレートを選んで［**当てる**］

- 同じ名前で保存すると上書きします
- 当てると、いまの矩形と切り出し枠は置き換わり、**目視確認はやり直し**になります
- 要らなくなったら、選んで［**削除…**］です。まとめて消すときは［アプリの設定］→［**名前つきテンプレートを削除**］（→ 5.4）

変換するフレームの目視確認

> **これが、この製品でいちばん大事な仕組みです。**
>
> **変換するフレームをすべて一度画面に出すまで、先へ進めません。** 焼き込みの文字は、**途中のフレームにだけ出てくることがあります。** 1枚目だけ見て「消えた」と判断すると、そのまま事故になります。

再生かコマ送りで全部のフレームを表示すると、「目視確認 ○ / ○ フレーム」が満たされ、最後のボタンが押せるようになります。**押せないあいだは、ボタンのすぐ横に「まだ見ていないフレームが ○ 枚あります」と出ます。** スライダーをつかんで動かしているあいだのフレームは数えません。

範囲（→③）を決めているときは、その範囲だけを確認します。 「確認するのは 12〜48 フレームだけです（全 120 フレーム中）。この範囲だけを変換します。」と出ます。範囲の外のフレームは変換されません。

- 変換の画面で範囲を**広げる**と、［変換を開始］を押したときに、広げた範囲を確認し直す画面が出ます。確認をやめると変換は始まりません
- 範囲を**狭める**だけなら、確認はやり直しません

確認の再生は、速さを選べます。 再生ボタンの右の［**元の速さ**］［**2倍**］［**4倍**］から選びます（最初は元の速さ）。**どの速さでもコマは飛ばしません**（すべてのフレームを表示します）。長い録画を確認するときにお使いください。

- パソコンが追いつかないときは、出せる速さで流れます
- 元の速さが毎秒 15 コマより遅い動画（と速さの分からない動画）は、「元の速さ」でも毎秒 15 コマで流れます

前のシリーズを確認し直したいとき

いくつかのシリーズをまとめて開いたときは、1件ずつ順に開きます。**この画面の中で、前のシリーズに戻ることはできません。**

確認し直したいときは、一度最後まで進めてから、メイン画面で**そのシリーズだけにチェックを入れて［マスク編集］**を押してください。**前回の矩形と確認をそのまま引き継いで**開きます（→ 下の「確認をやり直すことがあります」）。

最後のボタンは、開き方で文字が変わります

どこから開いたか	ボタンの文字	押したあと
［マスク編集］ から	**確認を終える**	マスクと階調を覚えて、画面を閉じます。**変換はここからは始まりません**
［変換（動画・静止画）］ から	**変換へ進む**	そのまま変換の設定へ進みます

確認をやり直すことがあります

見えている絵が変わったときだけ、やり直しになります。

したこと	やり直すか	なぜ
矩形を**足す**	**やり直しません**	隠す方向なので、見逃しは増えません
矩形を**消す** / すべて消す	**やり直します**	隠れていた部分が見えるようになります
黒塗りを**外す** / モザイクにする	**やり直します**	モザイクは文字の形が残ります
明るさ（階調）を変える	**やり直します**	見え方そのものが変わります
矩形の中の**文字を変える**	**やり直します**	見え方が変わります
切り出し枠を**初めて置く** / **狭める**	**やり直しません**	変換後に入る部分が減るだけです
切り出し枠を**広げる** / **外す** / 別の所に描き直す	**やり直します**	これまで入らなかった部分が入ります
名前つきのテンプレートを当てる	**やり直します**	矩形と切り出し枠が置き換わります
確認した範囲より**広い範囲**を変換する	**やり直します**（矩形は前のまま）	見ていないフレームが入るためです
画面を開き直す（前と同じ絵）	**やり直しません**（前回の確認を引き継ぎます）	変わっていないため
画面を開き直す（前と見え方が違う）	**やり直します**	安全のためです

⑤ 変換（動画・静止画）

チェックを入れてから［変換（動画・静止画）］を押します。

まだ目視確認をしていないシリーズがあるときは、先にマスク編集の画面が出ます。 1件ずつ確認を終えると、変換の設定へ進みます。

変換の画面のいちばん上で、**変換先を【動画｜静止画】から選びます。**

変換先	中身
動画	1本の動画ファイル（MP4／GIF）にします
静止画	1コマを1枚の画像（PNG／JPEG）にします（下の「静止画にする」）



変換設定の画面

変換の設定（動画）

項目	選べるもの
出力形式	**MP4 (H.264) ／ アニメーションGIF**
解像度	元のまま ／ 幅を指定して縮小（切り出し枠があれば、切り出した後の幅が出ます。それより大きい幅を選んでも拡大しません）
画質	高 ／ 標準 ／ 小容量
出力範囲	全フレーム ／ 開始・終了フレームを指定（③で範囲を決めていれば、その番号が入っています。汎用ファイルの動画では、番号の下に経過時間も出ます）
変換したファイルに残す患者情報	残さない（推奨） ／ 患者IDを残す（→ 6章）。汎用ファイルは患者IDを持たないため、選ぶ欄は出ません
出力先フォルダ	初めは空です。［参照…］で選びます。**選ぶまで変換を開始できません**。次からは前回の出力先が最初から入っています
動画の速さ	メイン画面の「動画の速さ」と同じ値です。**どちらで変えても両方が変わります**（例：「等倍（元のまま）（30 fps）」）

> **動画の速さについて：** 倍率は、シリーズごとの元の速度にかけます。シリーズによって元の速さが違うときは「(シリーズごと 3〜60 fps)」のように幅で出ます。

> **GIF は 256色に減色されます。** カラードプラなど色の多い画像は MP4 をお勧めします。
>
> **開始・終了フレームの指定は、シリーズを1つだけ選んでいるときに使えます。** シリーズごとにフレーム数が違うためです。③で範囲を決めたシリーズを**1つだけ**チェックして［変換（動画・静止画）］を押すと、「開始・終了フレームを指定」にその番号が入った状態で開きます。番号はここで直せます。**2つ以上をまとめて変換するときは、シリーズごとに③で決めた範囲で変換します。** 範囲の無いシリーズは全フレームです。
>
> **動画にできないシリーズがあります。** 1枚だけのシリーズと、大きさの違う画像が混ざったシリーズは、動画にはできません（静止画になら変換できます）。画面に理由が出ます。**装置が違う画像が1つのフォルダに混ざっているときは、フォルダを分けて取り込み直してください。**

1本につなげる・別々の動画にする

2つ以上のシリーズを動画にするときは、変換の画面に「**選んだ動画をどうしますか**」が出ます。

選ぶもの	どうなるか
1本の動画につなげる（選んだ ○ 本）	選んだシリーズを、つなぐ順に1本の動画にします（学会発表などに）
別々の動画にする（1本ずつ）	シリーズごとに1本ずつ動画にします

- **最初はどちらも選ばれていません。どちらかを選ぶまで、［変換を開始］は押せません。** 選ぶ前は、見出しが橙色の「1本につなげるか、別々の動画にするかを選んでください」になります
- 範囲・黒塗り・文字・切り出しは、**シリーズごとに決めたもの**をそのまま使います
- どのシリーズも元の長さのまま流れます（遅いシリーズは、同じコマをくり返します）
- **大きさの違うシリーズはつなげません。** そのときは理由が出て、別々の動画になります
- 1本だけのときや、静止画にするときは出ません



1本につなげるか、別々の動画にするか（選ぶ前）

つなぐ順を変える

「1本の動画につなげる」を選ぶと、「**つなぐ順（上から）**」が出ます。行を選んで［**上へ**］［**下へ**］で並べ替えます。最初は一覧の順です。汎用ファイルは元のファイル名、DICOM はシリーズの題名で出ます。

つないだ動画の名前は、**つなぐ順の1本目の名前の後ろに `_join` と本数**が付きます（例：`case001_20261029_S2_join2.mp4`）。

ファイル名

```
患者IDまたは連番_検査日_Sシリーズ番号.拡張子
```

「残さない（推奨）」を選んだときは、患者ID の代わりに `case001` のような連番が入ります。変換の画面に、ファイル名の見本が出ます。

汎用ファイルは、いつも `case001_00000000_S1.mp4` の形になります（検査日の代わりに `00000000`）。**元のファイル名は、変換したファイルの名前には入りません**（ファイル名に患者名が入っていることがあるためです）。

同じ名前のファイルが出力先にあるときは、末尾に `(2)` `(3)` が付きます。 前に書き出したファイルを上書きすることはありません。

変換を開始

［**変換を開始**］を押すと、**1本ずつ順番に**書き出します。途中で［変換を中止］を押せます。**書きかけのファイルは、中止でも失敗でも削除します。**

静止画にする

変換先で**【静止画】**を選ぶと、**1コマを1枚の画像**にします。

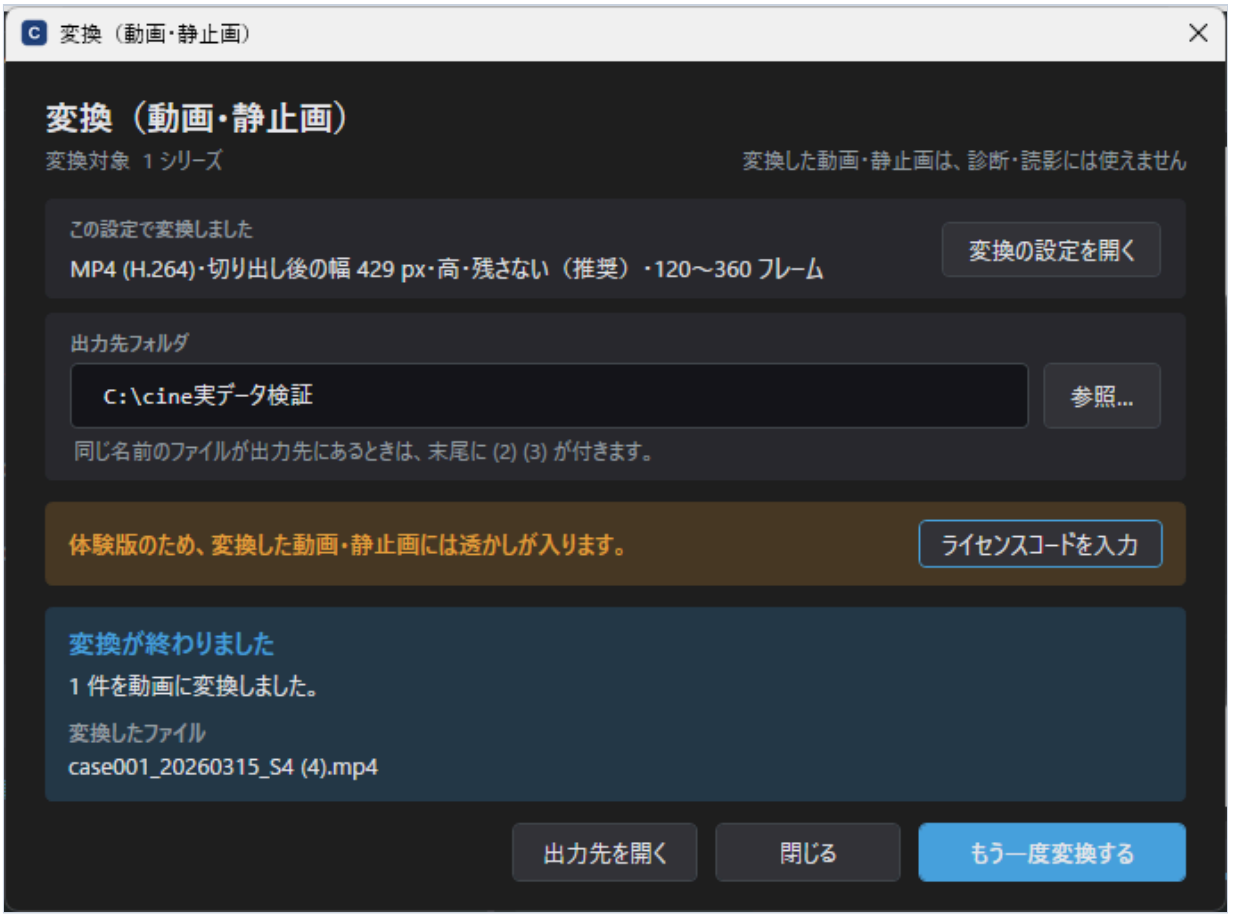
項目	選べるもの
形式	**PNG（劣化なし）** ／ **JPEG**（高〈品質 95〉・標準〈品質 85〉）
大きさ	元の大きさのまま（切り出し枠があれば、切り出した大きさ）

- **PNG は劣化しません。** 文字や計測値の入った画像に向いています。JPEG は少し劣化し、元が JPEG の画像は劣化が重なります
- ファイルの名前の末尾には、**元のフレーム番号**が付きます
- 範囲（→③）を付けていれば、その範囲のコマだけを画像にします
- **300 枚を超えるときは、変換の前に枚数の確認が出ます。1回に変換できるのは 10,000 枚まで**です。それより多いときは、範囲を付けてください
- 黒塗り・文字・切り出し・透かし（体験版のとき）は、動画と同じく掛かります
- 中止したときは、それまでに書いた分も消します

終わったあと

「変換が終わりました」「◯ 件を動画に変換しました」（静止画のときは「◯ 件を ◯ 枚の静止画に変換しました」）の枠に、**実際に書き出したファイルの名前**が出ます。

設定の欄は、いちばん上の「**この設定で変換しました**」と1行の要約（例：「MP4 (H.264)・元のまま・高・残さない（推奨）・全フレーム」）にたたまれます。



変換が終わったあと

ボタン	場所	
変換の設定を開く	上の要約の右	たたんだ設定を広げて、中身を確かめられます
出力先を開く	最下段	書き出したフォルダを開きます
閉じる	最下段	変換の画面を閉じます
もう一度変換する	最下段	設定を変えて、同じシリーズをもう一度書き出せます

---

5. 画面ごとの説明

5.1 メイン画面

場所	中身
左上	［フォルダから取込み］［CD/DVDから取込み］
右上	**ライセンスの状態と入口**（「体験版｜コードを入力」／「残り ○ 日｜ライセンス」／「期限切れ（透かしが入ります）｜コードを入力」）。押すとライセンス画面が開きます
左	検査リスト（検査 → シリーズのツリー、チェックボックス、並べ替え）。**右クリックか Delete キーで一覧から削除・チェックしたものをまとめて削除**（→ 4章②）
右	プレビュー（再生バー・動画の速さ・**範囲**・［時刻で指定…］〈汎用ファイルの動画だけ〉）、画像情報（サイズ・色の形式・圧縮形式・装置）
最下段・左	保存データの量、チェック済みの数、取り込みや変換の結果
最下段・右	［**取扱説明書**］［**アプリの設定**］［マスク編集］［変換（動画・静止画）］

押せないボタンは、マウスを乗せると押せない理由が出ます。

何も取り込んでいないときは、一覧の場所に「まだ何も取り込んでいません。左上の「フォルダから取込み」から始めてください。」と、この取扱説明書の開き方が出ます。プレビューの場所には「ここに DICOM のフォルダをドラッグ」と、CD / DVD もドラッグで取り込めることが出ます。

［取扱説明書］

このパソコンに入っている取扱説明書（この PDF）を開きます。インターネットは不要です。

PDF が見つからないとき、または開けないとき（PDF を開くソフトが入っていないなど）は、次の窓が出ます。

> 取扱説明書（PDF）が見つかりませんでした。 同じ内容は、次の Web のページでも読めます。ブラウザで開きますか。 https://trisulana.com/cine/manual/

［はい］でブラウザが開きます。［いいえ］で閉じます。

「この問題を報告」

シリーズを開けなかったときなどに、画面に［この問題を報告］が出ます。押すと報告ファイルを作れます（→ 9.3）。**元のファイルが見つからないとき（→ 9.2）は出ません。** 元の場所に戻すか、取り込み直せば直るためです。

赤い表示は、右上の［×］で閉じられます（画像は残ります）。閉じたあとでも、［アプリの設定］→「困ったとき」→［**報告ファイルを作る**］から報告できます。

5.2 マスク編集画面

場所	中身
上の帯	**出力前に必ず、変換するフレームをすべて目視で確認してください**
左	対象のシリーズ（◯ / ◯ 件目）／階調（明るさ）（**自動で合わせたシリーズのときだけ**・→ 7.3）／マスクの矩形（件数つき）と矩形の中に書く文字／塗りつぶし方／テンプレート（DICOM は装置テンプレート、汎用ファイルは名前つき）／**切り出し（いちばん下）**
左下	知らせ（テンプレートを適用しました、など）
右	画像（ドラッグで矩形を追加）／再生バー／目視確認の進み具合
右下	［キャンセル］、［確認を終える］（または［変換へ進む］）と、押せない理由

左側は全体をスクロールできます。 窓が小さいときは、下までスクロールしてください。

［キャンセル］で途中でやめると、画面の最下段に「マスク編集を途中でやめました。」と出ます。

5.3 変換設定の画面

→ 4章の⑤をご覧ください。

5.4 アプリの設定

メイン画面の最下段の［**アプリの設定**］で開きます。1枚の画面に、次の5つの欄が並んでいます。**中身は縦にスクロールします。**「お問い合わせ」の欄は、下までスクロールすると見えます。





アプリの設定（上と下の2枚）

欄	できること
ライセンス	状態の確認、［ライセンス画面を開く］
保存データ	使用量・検査とシリーズの件数の確認、［**すべて削除**］、［**装置テンプレートを削除（○ 件）**］、［**名前つきテンプレートを削除（○ 件）**］
バージョン	版の確認（「TRISULANA cine 1.0.5」のように出ます）
困ったとき	［**最新の情報を見る**］、［報告ファイルを作る］、［記録のフォルダを開く］
お問い合わせ	会社名、`cine@trisulana.com`、**このPCの識別コード**（［コピー］でクリップボードに写せます・→ 3.4）

> **TRISULANA cine は一切通信しません。**［最新の情報を見る］［購入ページを開く］は、お使いのブラウザでページを開くだけです。

保存データのボタン

ボタン	消えるもの	消えないもの
すべて削除	取り込んだ検査の一覧、テンプレート（装置・名前つき）、CD / DVD から写した画像（作業領域）	**元の DICOM ファイル・動画・画像**（フォルダや CD / DVD の中身）
装置テンプレートを削除	保存した装置テンプレート（DICOM）だけ	名前つきテンプレート、取り込んだ検査の一覧
名前つきテンプレートを削除	名前を付けて保存したテンプレート（汎用ファイル）だけ	装置テンプレート、取り込んだ検査の一覧

どれも、押すと確認の窓が出ます。 詳しくは 8.2 をご覧ください。

最新の情報を見る

よくある質問・既知の不具合・最新の版・コードの送り直しを、Web のページにまとめています。お使いのブラウザで開きます。**ブラウザが開けないときは、画面にアドレスが出ます。**

---

6. 患者情報の扱い

> **この章は必ずお読みください。**

6.1 患者情報は2か所にあります

DICOM の画像には、患者情報が2か所に入っています。消し方がまったく違います。

どこ	例	消し方
① タグ（データの中の項目）	患者氏名、患者ID、検査日、装置名	**何もしなくても動画には入りません**
② 画像そのものに焼き込まれた文字	画面の四隅に表示されている氏名・生年月日・日時	**マスク編集で四角を置いて消します**

6.2 ①タグについて

MP4 や GIF には、そもそも DICOM のタグを入れる場所がありません。 ですから、何も設定しなくても、患者氏名や患者ID が動画ファイルの中に残ることはありません。静止画（PNG・JPEG）にも、タグや撮影の情報は書き込みません。

MP4 には、動画ファイルの決まりとして「変換した日時」が入ります（ファイルの更新日時と同じ日時です）。元の検査日や録画の日時は入りません。

弊社では、書き出した動画のバイト列を実際に走査して、タグの値が現れないことを確かめています（実データの動画10本・約580万バイトを走査して **0件**）。

「変換したファイルに残す患者情報」の設定は、ファイル名を決めるものです

選択肢	ファイルの中身	ファイル名
残さない（推奨）	患者情報は入りません	`case001_20260920_S3.mp4` のような**連番**になります
患者IDを残す	患者情報は入りません	**患者ID がファイル名に入ります**

どちらを選んでも、変換したファイルの中身は変わりません。 変わるのはファイル名だけです。「患者IDを残す」は、院内で整理するときに元の検査が分かるようにするための選択肢です。

6.3 ②焼き込み文字について ― いちばん間違えやすいところ

> **「残さない（推奨）」を選んでも、画像に写っている氏名や日付は消えません。**
>
> これはソフトウェアの不具合ではありません。**焼き込み文字は「画像そのもの」です。** データの項目ではなく、ピクセルとして絵の一部になっています。**消すには、マスク編集で四角を置いて塗りつぶすしかありません。**

変換の画面にも、同じ注意書きが出ます。

> 画像そのものに写っている氏名や日付は、この設定では消えません。マスク編集で消してください。

焼き込みの位置は装置ごとに違います

同じ装置・同じ画像の大きさなら、位置はほぼ同じです。**［この装置のテンプレートに保存］を使うと、2回目以降が楽になります**（→ 4章④）。

タグの生年月日と、焼き込みの生年月日は、違う値のことがあります

弊社の検証で、**画像に `DOB: 2/27/81` と焼き込まれているのに、タグの生年月日は別の値だった**という例が実際にありました。

「タグを消したから焼き込みも消えている」とは考えないでください。 必ずご自身の目で、変換するフレームをすべて確かめてください。

6.4 だから、変換するフレームの目視確認があります

TRISULANA cine は、**変換するフレームをすべて一度画面に出すまで、変換へ進めない**ようにしています。

焼き込みの文字は、**造影が始まったフレームにだけ出る、最後の数枚にだけ出る**といったことがあります。手間に感じられるかもしれませんが、**この確認だけが、焼き込みを見落とさない唯一の方法**です。

6.5 記録（ログ）について

TRISULANA cine は、動作の記録をパソコンの中に残します。**この記録に、患者氏名・患者ID・検査の題名・ファイルの場所・元のファイル名・書き出したファイルの名前は書きません。**

シリーズを区別する必要があるときは、**元に戻せない8文字の記号**に置き換えています。

記録は日ごとに1つのファイルになり、**今日を含めて30日ぶん**を残します。古いものは自動で消えます。

6.6 汎用ファイル（動画・画像）の患者情報

録画装置の動画や画像のファイルにも、患者情報が入っていることがあります。

どこ	例	変換したファイルでは
ファイル名	装置が付けた名前に患者名が入っている	**入りません。** 変換したファイルの名前は `case001_00000000_S1.mp4` の形です
ファイルの中の情報	録画の日時、装置の情報、音声	**入りません。** 映像（絵）だけを使います（MP4 には、変換した日時だけが入ります・→ 6.2）
画面に写り込んだ文字	録画した画面の氏名・ID	**消えません。** DICOM の焼き込み文字と同じく、マスク編集で塗りつぶしてください（→ 6.3）

一覧（TRISULANA cine の画面）には、元のファイル名が出ます。DICOM で患者名が出るのと同じく、**画面の中だけ**です。

---

7. 明るさ（階調）について

7.1 「灰色一色で何も見えない」とき

DICOM の画像には、「どの明るさで表示するか」の設定が書き込まれています。**ところが、その設定のままでは何も見えない画像が、実際にあります。**

血管撮影の DSA 画像などで起きます。画像には「明るさの全域を使う」と書いてあるのに、実際の画素にはごく狭い範囲の変化しか入っていない、という状態です。

7.2 TRISULANA cine は、測ってから自動で合わせます

画像に書かれた設定では何も見えない、と測って判定したときだけ、自動で明るさを合わせます。 判定に当てはまらない画像には、一切手を触れません。

自動で合わせたときは、メイン画面に「階調を自動で合わせています」と出ます。

> このシリーズは、画像に記載された明るさの設定では何も見えません。そのため TRISULANA cine が自動で合わせています。ざらつきが強く出ることがあります。マスク編集の画面で「画像に記載のまま」へ戻せます。

7.3 元に戻すには

マスク編集の画面に「**階調（明るさ）**」の欄があります。

選択肢	
自動で合わせる（初期）	TRISULANA cine が測って決めた明るさ
画像に記載のまま	画像に書かれている設定をそのまま使います

ここで見えている明るさが、そのまま動画になります。

> **自動にすると、ざらつき（ノイズ）が強く出ることがあります。** もともと暗い部分を無理に引き伸ばすためです。見づらいときは「画像に記載のまま」へ戻してください。

明るさを変えると、目視確認はやり直しになります。 見え方が変わった分を、もう一度すべてのフレームで確かめていただくためです。

7.4 自動で合わせられない画像もあります

画像の形式	自動で合わせられるか
非圧縮のモノクロ	**合わせられます**

画像の形式	自動で合わせられるか
RLE 圧縮のモノクロ	**合わせられます**
JPEG（可逆）圧縮のモノクロ	**合わせられます**
JPEG（非可逆）圧縮	**合わせられません**（伸長した時点で階調の情報が失われているため）
カラー画像	**合わせられません**（モノクロ用の仕組みのため）
動画・画像のファイル（汎用ファイル）	**合わせません。** ファイルの見え方のまま変換します（階調の欄も出ません）

これは仕様であり、不具合ではありません。

---

8. 保存されるデータと、その消し方

8.1 どこに何が保存されるか

保存されるもの	場所
CD / DVD から写した画像（作業領域）	`%LocalAppData%\NakashimaMedical\cine\work\`
検査の一覧・テンプレート・ライセンスの状態（データベース）	`%LocalAppData%\NakashimaMedical\cine\data\`
動作の記録	`%LocalAppData%\NakashimaMedical\cine\logs\`

- **CD / DVD から取り込んだ画像は、パソコンの中に写して保存します。** ディスクを抜いたあとでも開けるようにするためです
- **フォルダから取り込んだ画像は写しません。** 元の場所から読みます（→ 4章①）。動画・画像のファイル（汎用ファイル）も同じです

CD / DVD から写した画像は、そのまま置いておくと増えていきます。 メイン画面の最下段と［アプリの設定］の「保存データ」に使用量が出ますので、ときどきご確認ください。

8.2 すべて削除する

一部だけ消すときは、検査リストの右クリック →［一覧から削除］（チェックしたものをまとめて消すときは［チェックした ○ シリーズを一覧から削除］）を使います（→ 4章②「一覧から削除する」）。消えるのはその検査（シリーズ）の行と、CD / DVD から写したその分だけです。［すべて削除］は、一覧・テンプレート・写した画像を**まとめて全部**消します。パソコンを返す・手放す前などにお使いください。

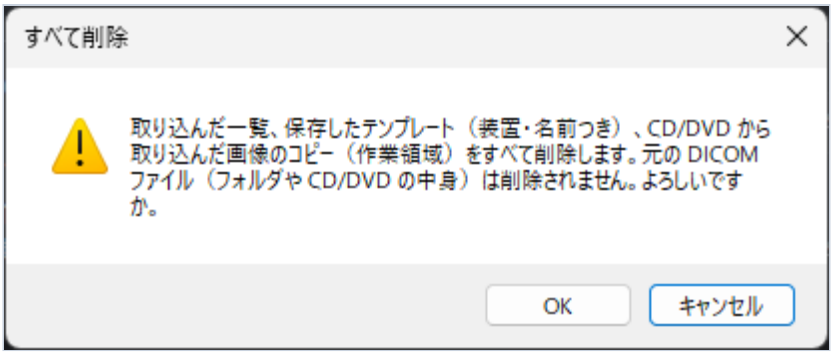
［アプリの設定］→「保存データ」→［**すべて削除**］。

次のものを削除します。

- 取り込んだ検査の一覧
- 保存したテンプレート（装置・名前つき）
- CD / DVD から写した画像（作業領域）

> **元の DICOM ファイル・動画・画像（フォルダや CD / DVD の中身）は削除されません。** 確認の窓には「元の DICOM ファイル（フォルダや CD/DVD の中身）は削除されません」と出ますが、動画・画像の元のファイルも同じく削除されません。

押すと確認の窓が出ます。**初めは［キャンセル］が選ばれています。**



すべて削除の確認

一部のファイルを削除できなかったときは、件数が出ます。**TRISULANA cine を起動し直してから、もう一度［すべて削除］を押してください。**

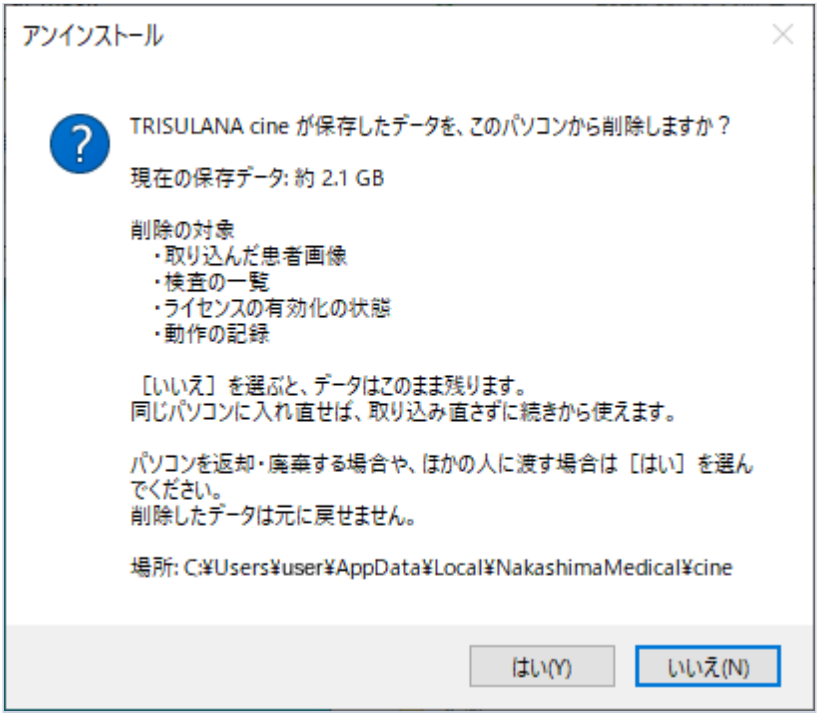
テンプレートだけを消すときは、［**装置テンプレートを削除**］［**名前つきテンプレートを削除**］を使います。こちらは検査の一覧を消しません。

8.3 アンインストールするとき

アンインストーラーは、プログラムを削除してよいかを確かめたあと、**保存データも削除しますか** と一度だけお尋ねします。

> TRISULANA cine が保存したデータを、このパソコンから削除しますか？

この窓には、いまの保存データの量、削除の対象、データの場所も出ます。



アンインストールの確認

答え	どうなるか
いいえ（初期選択）	プログラムだけ消えます。**同じパソコンに入れ直すと、取り込み直さずに続きから使えます**
はい	取り込んだ患者画像・検査の一覧・**ライセンスの有効化の状態**・動作の記録を、すべて削除します。**元に戻せません**

> **［はい］を選ぶと、ライセンスの有効化の状態も消えます。** 期間の残っているライセンスがあるときはご注意ください。
>
> **パソコンを返却・廃棄される場合や、ほかの人に渡す場合は、必ず［はい］を選んでください。** 取り込んだ患者画像が残ったままになります。
>
> **パソコンを買い替えたときは、期間の残っているコードを、新しいパソコンに入力できます。** 期間は、新しいパソコンに入力した日から数え直します。古いパソコンでは使わないでください。詳しくは利用規約（`https://trisulana.com/cine/terms/`）をご覧ください。
>
> **「すべてのユーザー用」に入れた TRISULANA cine を、別のアカウントで削除した場合は、実際にお使いになった方のデータは削除されません。** その方のアカウントでサインインして、データの場所を削除してください。

---

9. うまくいかないとき

9.1 開ける形式・開けない形式

形式	変換できるか
非圧縮	**できます**
非圧縮（Deflate）	**できます**
RLE（可逆圧縮）	**できます**
JPEG（非可逆・8ビット）	**できます**
JPEG（可逆）〔JPEG Lossless〕	**できます**
JPEG 2000	**できません**
12ビットの JPEG（非可逆）	**できません**
その他	一覧には出ますが、動画にはできません

対応していない形式のシリーズは、画像情報の「圧縮形式」に「**未対応**」と出ます。

動画・画像のファイル（汎用ファイル）

形式	取り込めるか
動画：MP4・AVI	**できます**（確かめているのは、MP4 は H.264、AVI は Motion JPEG のものです）
画像：JPEG・PNG・BMP	**できます**
H.265（HEVC）の動画	**できません**（取り込みの窓に出て、一覧にも入りますが、開くと「このシリーズは開けませんでした。動画を読む部品（Media Foundation）の呼び出しに失敗しました…」と出ます）
そのほか	取り込みの窓に「取り込めないもの」として出ることがあります

対応形式は版によって増えることがあります。最新の一覧は「最新の情報」のページをご覧ください。

9.2 よくある症状

症状	考えられること・直し方
「このシリーズの元ファイルが見つかりません」	フォルダから取り込んだあとで、元のフォルダを移動・削除したか、USB メモリなどを外しています。**一覧には残っていますが、中の画像を読めません。** 元の場所に戻すか、もう一度取り込んでください。**1.0.7 までの版で CD / DVD をドラッグで取り込み、ディスクを抜いたときも同じです**（［CD/DVDから取込み］で取り込み直してください。1.1 からは、ドラッグでも写します・→ 4章①）

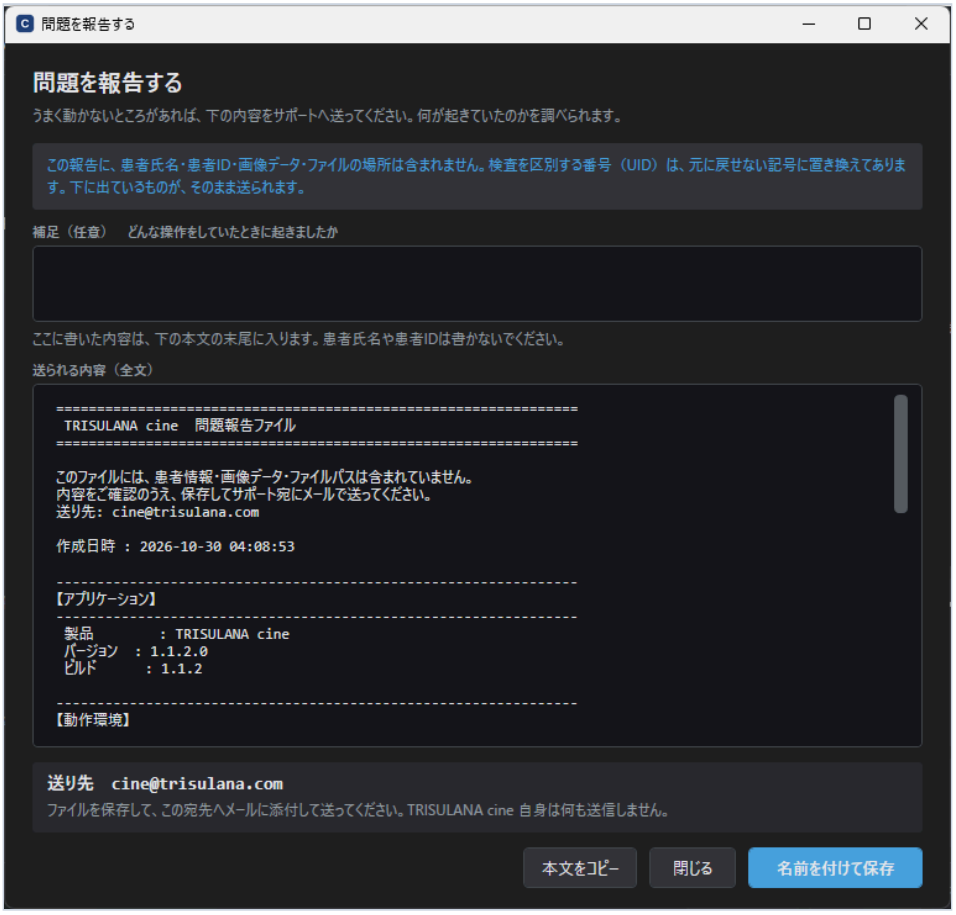
症状	考えられること・直し方
フォルダを選ぶ画面に「検索する条件に一致する項目はありません」と出る	正常です。この画面にはファイルが出ません。フォルダを選んだまま［フォルダーの選択］を押してください（→ 4章①）
「1枚しかないため再生できません」	そのシリーズには画像が1枚しかありません。動画にはできません
［マスク編集］［変換（動画・静止画）］が押せない	チェックボックスに印が付いていません。**行を青くするだけでは対象になりません**
［変換へ進む］［確認を終える］が押せない	まだ見ていないフレームがあります。再生かコマ送りで全部表示してください
［変換を開始］が押せない	出力先フォルダを選んでいません。2つ以上を動画にするときは、「1本の動画につなげる」か「別々の動画にする」を選んでいません（→ 4章⑤）
［変換を開始］を押したら、確認の画面が出た	変換の画面で、目視確認した範囲より広い範囲にしています。広げた範囲を最後まで確認すると変換できます（→ 4章④）
「動画にはできません。静止画になら変換できます」と出る	1枚だけのシリーズか、大きさの違う画像が混ざったシリーズです。静止画にするか、そのシリーズのチェックを外してください（→ 4章⑤）
「この動画・画像は開けません」と出る	取り込めても開けない形式です（→ 9.1）
灰色一色で何も見えない	7章をご覧ください
プレビューの赤い表示が消えない	右上の［×］で閉じられます。閉じても［アプリの設定］→「困ったとき」から報告できます（→ 5.1）
動画に透かしが入る	体験版か、ライセンスの期限が切れています（→ 3章）
ファイル名の末尾に `(2)` が付く	同じ名前のファイルが出力先にありました。上書きはしていません
ディスクを入れたのに「CD/DVD ドライブが見つかりません。ディスクが入っているか確認してください。」と出る	ディスクを入れた直後は、パソコンがまだディスクを読み込んでいることがあります。**少し待ってから、もう一度［CD/DVDから取込み］を押してください**
CD を取り込んだのに何も増えない	「すべて取り込み済みでした」と出ていれば、そのディスクは取り込み済みです
起動しても2つ目の画面が出ない	TRISULANA cine はすでに起動しています（→ 2.3）
［取扱説明書］を押すと「見つかりませんでした」と出る	［はい］で同じ内容の Web のページが開きます（→ 5.1）。TRISULANA cine を入れ直すと PDF も入り直します

症状	考えられること・直し方
［アプリの設定］の「すべて削除」で「一部のファイルを削除できませんでした」	TRISULANA cine を起動し直してから、もう一度押してください（→ 8.2）

9.3 問題を報告する

解決しないときは、**何が起きていたのかをまとめたファイル**をお作りいただけます。

1. ［アプリの設定］→「困ったとき」→［**報告ファイルを作る**］を押すと、「**問題を報告する**」の窓が開きます
2. **中身は画面で全部お読みいただけます**
3. 「補足（任意）」に、どんな操作をしていたときに起きたかをお書きください



問題を報告する

4. ［**名前を付けて保存**］で保存します（［本文をコピー］でクリップボードに写すこともできます）
5. `cine@trisulana.com` あてに、メールに添付して送ってください

> **TRISULANA cine 自身は、何も送信しません。** 送るかどうかは、内容をお読みになってからお決めいただけます。

> **この報告に、患者氏名・患者ID・画像データ・ファイルの場所は含まれません。** 検査を区別する番号（UID）は、元に戻せない記号に置き換えてあります。**画面に出ているものが、そのまま送られる内容です。**

補足の欄には、患者氏名や患者IDをお書きにならないでください。

9.4 予期しない問題が起きたとき

「予期しない問題が起きました」という画面が出ることがあります。**安全のため、この画面を閉じるとTRISULANA cine は終了します。** 内容を保存して、サポートまでお送りください（手順は 9.3 と同じです）。

---

10. 免責とお問い合わせ

10.1 免責

- **本製品は、診断および読影を目的としたものではありません。**（→ 0.2）
- 本製品を用いて作成した動画の取り扱い、および患者情報の管理については、**ご利用者および所属機関の責任において行ってください。**
- **Windows 10 での動作は確認していますが、OS 自体に起因する問題への対応は保証いたしません。**（→ 1.1）

10.2 お問い合わせ

メール	`cine@trisulana.com`
最新の情報	`https://trisulana.com/cine/manual/`
発行	ナカシマメディカルシステムズ株式会社

不具合のご報告、ライセンスについて、そのほかのお問い合わせは、すべて同じ宛先で承ります。

10.3 改訂履歴

版	日付	内容
1.0.3	2026年10月15日	初版
1.0.4	2026年10月16日	JPEG（可逆）〔JPEG Lossless〕に対応（7.4・9.1）。前の版で「未対応形式」になっていた JPEG（可逆）のシリーズは、1.0.4 を起動すると自動で選べるようになります（取り込み直しは要りません）
1.0.5	2026年10月17日	表紙・2.1・2.4・5.4 の版の書き方を、1.0.4 以降のどの版でも読めるように直しました。操作の説明は変わりません
1.0.7	2026年10月21日	メイン画面の右上からコードを入れられるようにしました（3章・5.1）。透かしの注意を、体験版・期限切れ・日付の確認で分けて出すようにしました（0.3・3.5）。一覧から1件ずつ削除できるようにしました（4章②・8.2）。再生バーで動画にする範囲を決められるようにしました（4章③⑤）。フォルダを選ぶ画面とドラッグでの取り込みの説明を足しました（4章①・9.2）。赤い表示の［×］と、検査の行を押したときの動き（アプリ 1.0.5 から）を書きました（4章③・5.1・9.2）

版	日付	内容
1.1	2026年10月30日	動画・画像のファイル（汎用ファイル）を取り込めるようにしました（4章①・6.6・9.1）。範囲を付けると、目視確認も変換もその範囲だけにしました（4章③④）。時刻で範囲を決められるようにしました（4章③）。切り出し・矩形の中の文字・名前つきのテンプレートを足しました（4章④）。静止画（PNG／JPEG）に変換できるようにしました（4章⑤）。CD / DVD をドラッグしても写すようにしました（4章①）。チェックしたシリーズをまとめて一覧から削除できるようにしました（4章②）。汎用ファイルを一覧に元のファイル名で出すようにしました（4章①）。目視確認の再生に2倍・4倍を足しました（4章④）。2つ以上を動画にするとき、1本につなげるか別々にするかを選び、つなぐ順を変えられるようにしました（4章⑤）。ボタンの名前を［変換（動画・静止画）］［ここから］［ここまで］に変えました

付録 第三者ソフトウェアのライセンス

TRISULANA cine には、次の第三者のソフトウェアが含まれています。これらには、それぞれのライセンスが適用されます（利用規約 第12条2項）。ライセンスの文と著作権の表示は、原文（英語）のまま載せています。

同じ内容の全文は、インストール先のフォルダにある `THIRD-PARTY-NOTICES.txt` にもあります。.NET の実行環境が内部で使っている部品の表示（[E]）と、CommunityToolkit の表示（[F]）は、そのファイルにだけ載せています。

インストール先：ふつうは `%LocalAppData%\Programs\NakashimaMedical\cine\`（インストールの画面で場所を変えた場合は、その場所）

A.1 一覧

ソフトウェア	版	ライセンス	著作権の表示
fo-dicom	5.2.6	MS-PL（→ A.3）	Copyright (c) fo-dicom contributors 2012-2026
SQLitePCLRaw（bundle_e_sqlite3・core・lib.e_sqlite3・provider.e_sqlite3）	2.1.13	Apache-2.0（→ A.4）	Copyright 2014-2024 SourceGear, LLC
SQLite（e_sqlite3.dll の中身）	—	パブリックドメイン（→ A.5）	—
.NET Runtime（Microsoft.NETCore.App）	10.0.13	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.
.NET Windows Desktop Runtime（WPF・Windows Forms）	10.0.13	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.
Microsoft.Bcl.AsyncInterfaces	10.0.13	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.
Microsoft.Bcl.HashCode	6.0.0	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.
Microsoft.Data.Sqlite.Core	10.0.13	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.

ソフトウェア	版	ライセンス	著作権の表示
Microsoft.Extensions.*（Configuration・Configuration.Abstractions・Configuration.Binder・DependencyInjection・DependencyInjection.Abstractions・Logging・Logging.Abstractions・Options・Options.ConfigurationExtensions・Primitives）	10.0.13	MIT（→ A.2）	© Microsoft Corporation. All rights reserved.
CommunityToolkit.HighPerformance	8.4.0	MIT（→ `THIRD-PARTY-NOTICES.txt` の [F]）	(c) .NET Foundation and Contributors. All rights reserved.

A.2 MIT License（.NET・Microsoft のパッケージ）

```
Applies to: .NET Runtime, .NET Windows Desktop Runtime, and the Microsoft.*
packages listed in section 1.

The MIT License (MIT)

Copyright (c) .NET Foundation and Contributors

All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy
of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal
in the Software without restriction, including without limitation the rights
to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell
copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is
furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all
copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY,
FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE
AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER
LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM,
OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE
SOFTWARE.
```

A.3 Microsoft Public License（fo-dicom）

```
Copyright (c) fo-dicom contributors 2012-2026

Microsoft Public License (Ms-PL)
```

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

1. Definitions
The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law. A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software. A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license. "Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

2. Grant of Rights
(A) Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.

(B) Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

3. Conditions and Limitations
(A) No Trademark License- This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.

(B) If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.

(C) If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

(D) If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license with your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.

(E) The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees, or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

A.4 Apache License 2.0（SQLitePCLRaw）

Copyright 2014-2024 SourceGear, LLC

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer

the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are ne cessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (includi ng a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You un der this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any m edium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following co nditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; a nd

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, pa tent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works t hat You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE fil e, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the D erivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise compli es with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submi tted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this Licen se, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede o r modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Con tributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITION S OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TI TLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Yo ur exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence),

```
contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) o
r agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect,
special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out o
f the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work sto
ppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Co
ntributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, Y
ou may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liabilit
y obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may a
ct only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and onl
y if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or c
laims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liabil
ity.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed
by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!)  The text sh
ould be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or cl
ass name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easi
er identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.
```

A.5 SQLite

e_sqlite3.dll の中の SQLite は、パブリックドメインです（https://www.sqlite.org/copyright.html）。